

2005年(平成17年)3月期
中間決算説明会

知恵をビジネスにする技術・情報企業



長瀬産業株式会社
2004年11月12日

 目 次

- ◆ 当中間期決算概況および通期業績見通し
- ◆ 中期経営計画「WIT21」折り返し点を迎えて
- ◆ コーポレートガバナンス
- ◆ トピックス
～ 製造子会社ナガセケムテックスの事業戦略～

当中間期の決算概況
2005年3月期中間

中間決算の概況(連結)

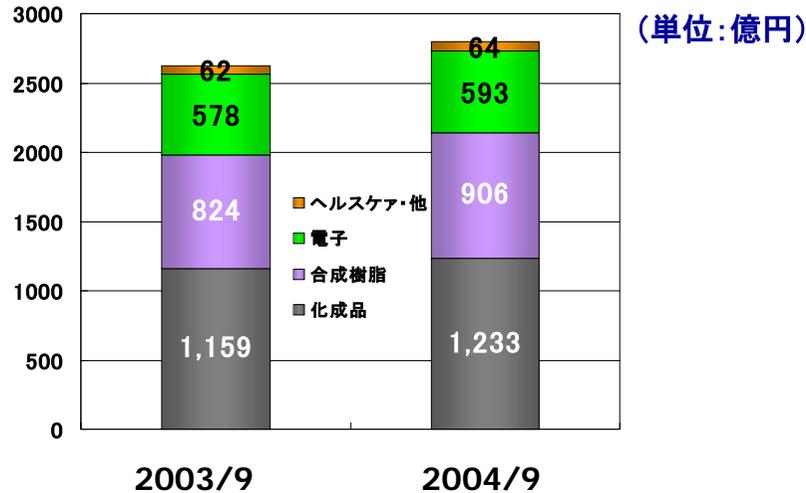
(単位:億円)
(億円未満切捨て表示)

	04/9	03/9	増減	前年同期比	コメント
売上高	2,798	2,626	+171	107%	海外販売大幅増加 国内販売も増加継続
売上総利益	303	276	+27	110%	
営業利益	64	63	+1	103%	販管費の増加
経常利益	76	80	△4	94%	持分法投資利益の減少
税引前中間 純利益	76	44	+31	171%	特別利益 投資有価証券売却益 7億円
中間純利益	46	27	+19	170%	特別損失 投資有価証券等評価損 ▲2億円 減損損失 ▲3億円
1株当り 中間純利益	36円84銭	21円73銭	+15円11銭	170%	

セグメント別の売上高と利益

(億円未満切捨て表示)

売上 2,798億円 前年同期比 171億円増加



セグメント別売上概況

化成品 + 73億円 (106%)

- 複写機等トナー原料、PDP、DVD用ケミカル好調
- 顔料関連(液晶カラーフィルター用他)好調
- ウレタン原料・塗料原料が海外中心に好調

合成樹脂 + 81億円 (110%)

- 中国圏・東南アジア向け樹脂原料輸出好調
- 自動車関連ビジネス好調

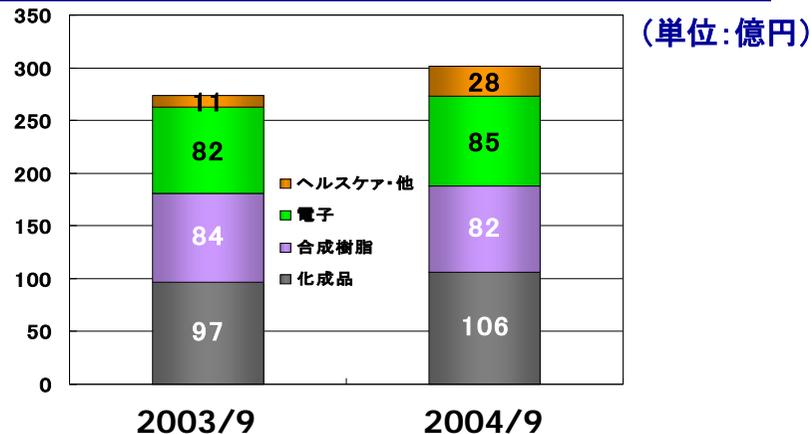
電子 + 14億円 (103%)

- 液晶、半導体用薬液及び装置好調
- 液晶モジュール等の販売価格低下
- 通信機器関連減少
- コンシューマー製品増加
(DVDプレーヤー・記録用メディア・映画ソフト)

ヘルスケア・他 + 1億円 (103%)

- 化粧品・健康食品横ばい
- 医療関連、放射線測定関連とも前年並

売上総利益 303億円 前年同期比 27億円増加



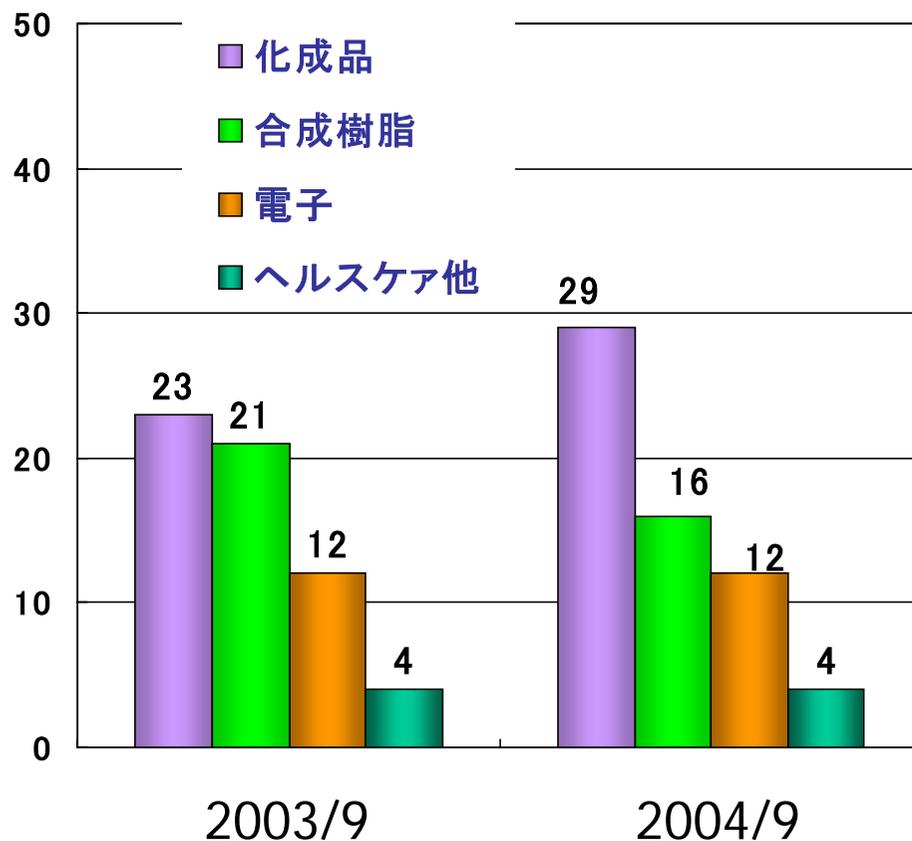
営業利益

(億円未満切捨て表示)

64億円 前年同期比103% 1.8億円増加

＜セグメント別営業利益＞

(単位:億円)

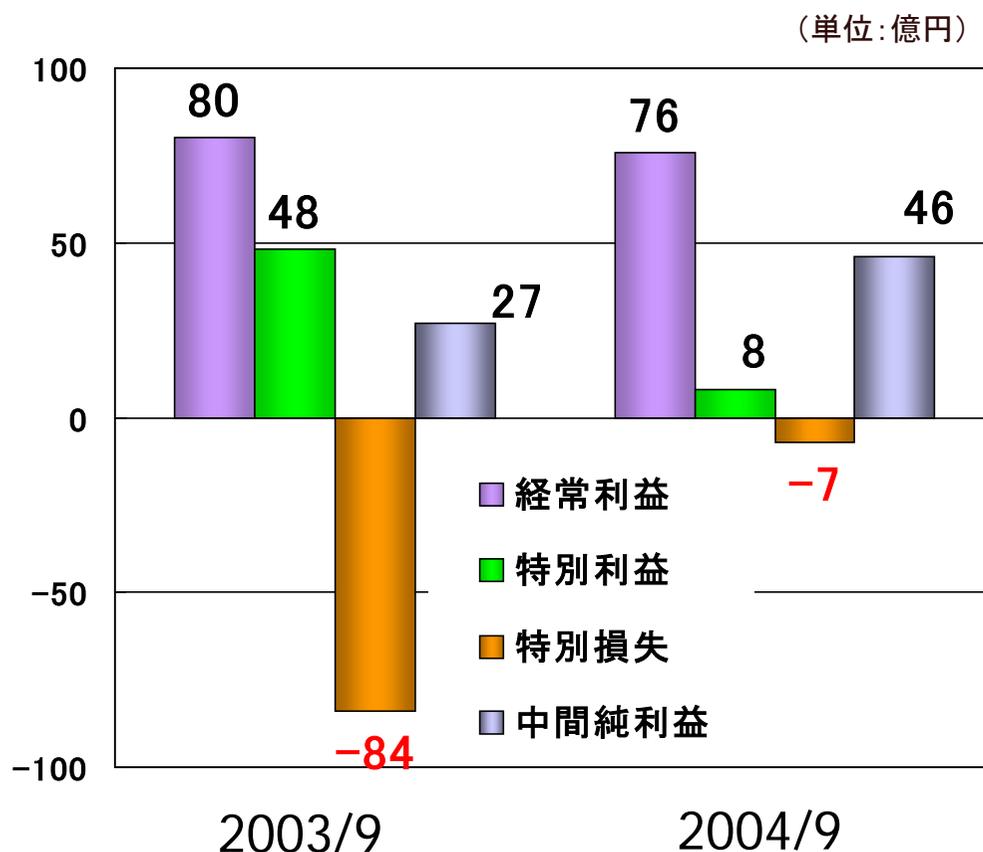
営業利益概況

- 化成品事業
売上増および営業利益率改善
(2.0%→2.4%)
- 合成樹脂事業
売上利益率の低下
(10.2%→9.2%)

経常利益・中間純利益

(億円未満切捨て表示)

経常利益 76億円 前年同期比 94% 4億円の減少



経常利益 76億円 ▲4億円

- 営業利益 +1.8億円
- 持分法投資利益の減少 ▲3億円

特別利益 8億円 ▲40億円

- 投資有価証券売却益 7億円

特別損失 7億円 ▲77億円

- 固定資産売却損 1億円
- 投資有価証券・出資金評価損 2億円
- 減損損失(2件) 3億円

中間純利益 46億円 +19億円

主な貸借対照表の増減

売上増加に伴う売掛債権・棚卸資産の増加

(単位: 億円)
(億円未満切捨て表示)

《資産》	04/9	04/3	増減	《負債及び資本》	04/9	04/3	増減
現金及び預金	197	216	▲18	支払手形及び買掛金	1,035	990	+ 44
受取手形及び売掛金	1,645	1,592	+ 53	短期借入金	97	76	+ 20
たな卸資産	342	273	+ 69	一年内償還予定社債	70	70	—
その他流動資産	73	66	+ 7	その他流動負債	179	177	+ 1
有形固定資産	275	269	+ 5	長期借入金	17	17	▲0
投資有価証券	613	633	▲20	(有利子負債)	(184)	(164)	(+ 20)
その他固定資産	50	56	▲5	その他固定負債	164	171	▲7
				少数株主持分	43	41	+1
				株主資本	1,592	1,562	+ 30
				(株主資本比率)	(49.8%)	(50.3%)	
資産合計	3,199	3,107	+ 92	負債・少数株主持分 資本合計	3,199	3,107	+ 92

キャッシュフローの状況

運転資金の増加

(単位:億円)

	04/9	備考
営業活動による キャッシュ・フロー	▲14	税前利益 76億円 運転資金 ▲64億円 法人税等の支払額 ▲27億円
投資活動による キャッシュ・フロー	▲11	有価証券売却/取得 16億円 固定資産取得/売却 ▲21億円 短期貸付金 ▲3億円
財務活動による キャッシュ・フロー	▲6	短期借入金 4億円 配当金 ▲11億円
現金及び現金同等物の 中間期末残高	190	前期末比19億円の減少

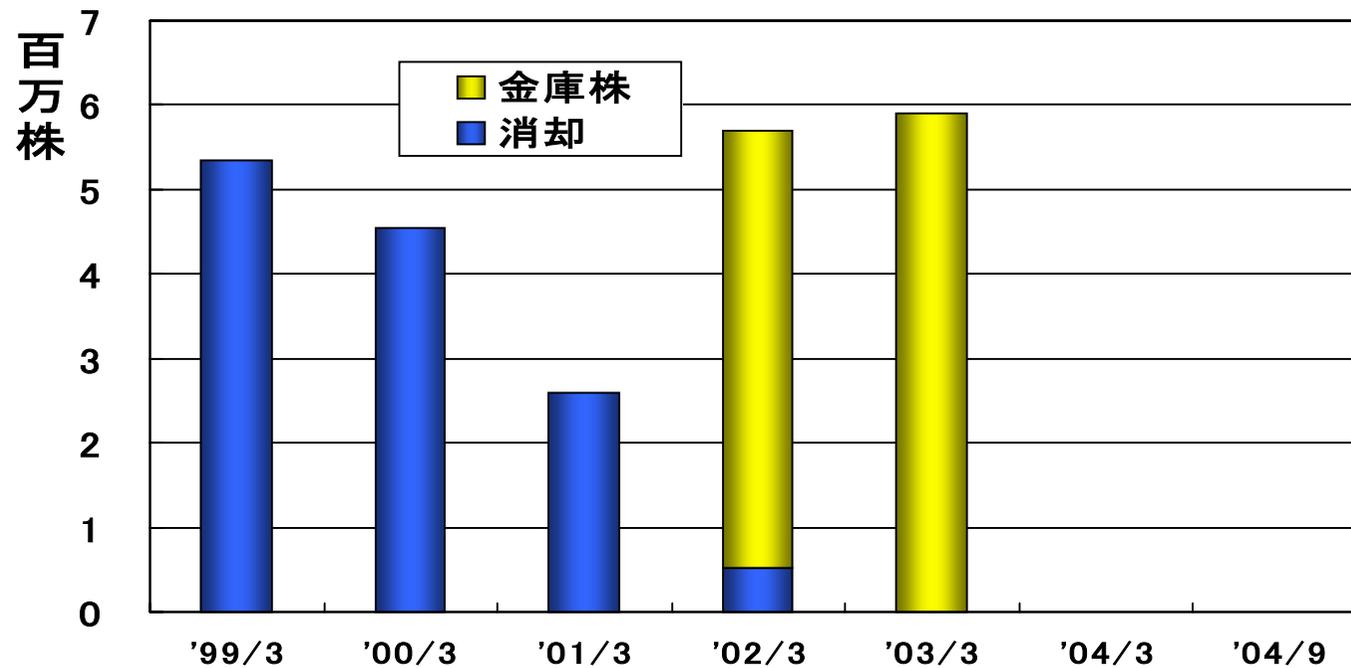
主な連結子会社の業績

(単位:百万円)

(百万円未満切捨て表示)

	社名	売上高	前年 同期比	営業利益	前年 同期比	中間純利益	前年 同期比
単体	長瀬産業	222,524	104%	2,828	88%	3,607	265%
製造会社	ナガセケムテックス	10,665	104%	846	158%	399	69%
	東拓工業	3,463	108%	188	113%	▲86	—
販売会社	ナガセプラスチック	5,781	102%	37	—	19	—
	報映産業	6,792	104%	96	—	47	—
	長瀬カラーケミカル	6,944	99%	99	348%	55	497%
海外	ナガセ香港	14,458	97%	457	107%	378	109%
	ナガセシンガポール	14,614	92%	227	104%	195	105%
	ナガセタイランド	8,047	112%	365	124%	297	110%

自己株式取得の状況



	株式数(千株)	金額(億円)
平成16年度上期自己株式取得実績	0	0
平成16年9月末現在所有金庫株	10,907	58
ストックオプションに係る株式数	1,783	14

通期の業績見通し
2005年3月期

2005年3月期業績見通し

(単位:億円)
(億円未満切捨て表示)

	2005年3月期 (今中間期予想)	2005年3月期 (前期末公表値)	2004年3月期 (実績)	前年比 (%)
売上高	5,680	5,680	5,333	107%
売上総利益	611	569	534	114%
販管費	491	449	432	114%
営業利益	120	120	102	117%
営業外損益	22	22	28	77%
経常利益	142	142	131	108%
当期純利益	95	95	70	136%

セグメント別の当期業績見通し

(単位:億円)
(億円未満切捨て表示)

	売 上 高			
	2005年3月期 (今中間期予想)	2005年3月期 (前期末公表値)	2004年3月期 (実績)	前年比 (%)
化粧品	2,510	2,430	2,313	109%
合成樹脂	1,810	1,770	1,709	106%
電子	1,230	1,350	1,189	103%
ヘルスケア・他	130	130	119	109%
合計	5,680	5,680	5,333	107%

中期経営計画「WIT21」

(2003年4月～2006年3月)

折り返し点を迎えて

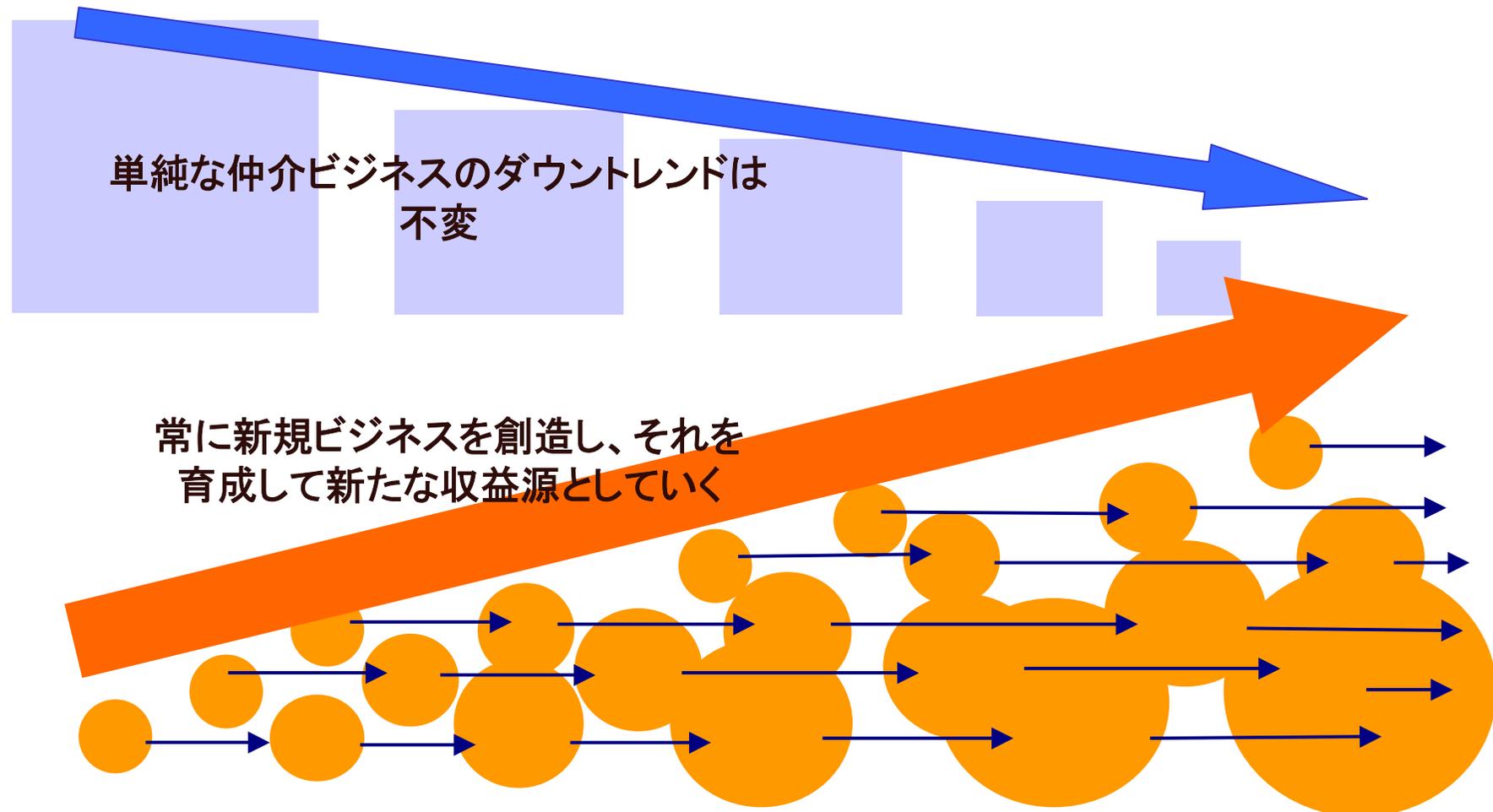
W ---- **Wisdom**

I ---- **Intelligence**

T ---- **Technology**

「WIT21」策定の背景 ～新規事業育成の重要性

既存のビジネスモデルからの脱皮



「知恵」をビジネスにする技術・情報企業

「WIT21」による事業の創造

商社の従来型機能

- ・物流
- ・リスク負担(与信・ファイナンス)
- ・バスケットセールス

ナガセ独自の強み

- ・自社グループ商品(製造業)
- ・技術力、情報力
- ・R&Dセンター
- ・川上から川下への流れ
(バリューチェーン)
- ・アジアネットワーク

深化

知恵

融合

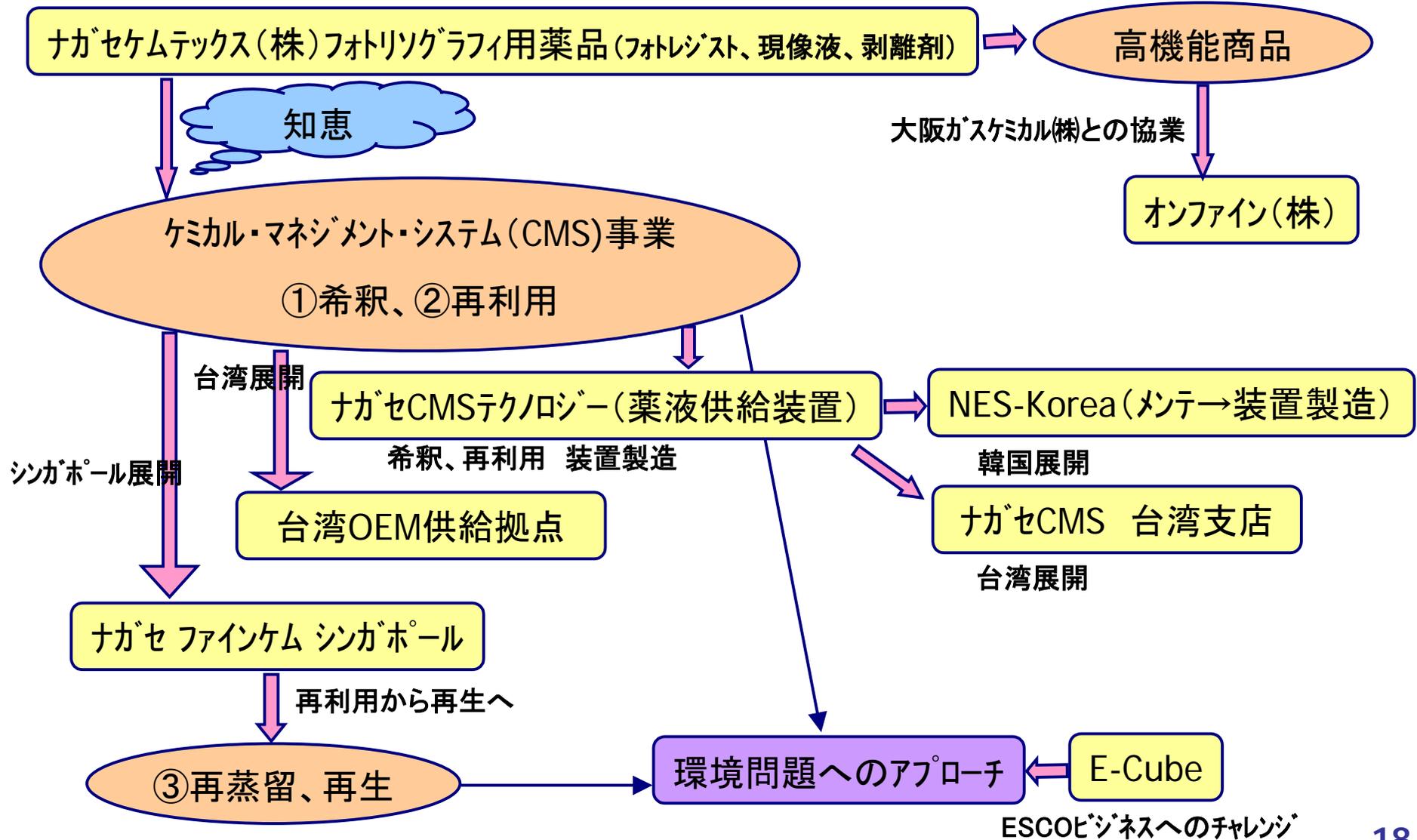
強化

投資

事業の創造

エレクトロニクス分野における事業創造の実例

半導体・液晶 製造工程用薬液 → 環境問題ソリューション



「知恵」をビジネスにする技術・情報企業

「WIT21」基本戦略

- ① 顧客指向の徹底による差別化の推進
- ② マーケットリーダー事業の育成強化
- ③ グループ機能と独自性を生かしたビジネスの創造

「WIT21」重点戦略分野

エレクトロニクス

ライフサイエンス

自動車関連

海外事業

「WIT21」の数値目標と現況

10年後の姿

- ・ 連結営業利益 200億円
- ・ 売上高総利益率 15%
- ・ 資本コストを上回る収益

中期計画

2006年3月期目標

- ・ 連結売上高 5,500億円 ← (2003年3月期 5,036億円)
- ・ 連結営業利益 110億円 ← (2003年3月期 84億円)

現在の状況

2004年9月中間期実績

- ・ 連結売上高 2,798億円
- ・ 連結営業利益 64億円

2005年3月期見通し

- ・ 連結売上高 5,680億円
- ・ 連結営業利益 120億円

前倒し達成に全力を挙げる

エレクトロニクス分野

★当社の基盤・強み

- ・「ケミカルを基盤」が起点
- ・グループ製造会社群
- ・「環境関連」への展開
- ・部材・部品ビジネス、末端商品への展開
- ・電子事業のみならず化成品、合成樹脂事業との協業



写真：ナガセファインケムシンガポール

★具体例

- ・ナガセケムテックス(株)： 半導体・液晶／剥離剤・封止材、変性エポキシ樹脂製造
 - ナガセファインケムシンガポール： 薬液製造／アジア展開
 - 長瀬精細化工(無錫)： 変性エポキシ樹脂製造／中国展開
- ・ナガセCMSテクノロジー： 半導体・液晶製造用／薬液供給装置(薬液リサイクルシステム)
 - ナガセエンジニアリングサービス Korea： 同韓国展開
- ・オンファイン(株)： 大阪ガスケミカル(株)とナガセグループの協業
- ・液晶用光学フィルム・モジュールビジネス
 - 長瀬国際電子： 中国(華南地区)での部材加工
- ・液晶カラーフィルタ用顔料(化成品)、樹脂製部材(合成樹脂)との協業
- ・キガテック(株)： 移動体通信基地局用部品(パワーアンプ) ファブレスメーカー
- ・川下展開 (販売先の製品を、更に販売するバリューチェーン)
 - DVDプレーヤー、周辺記録用メディアの販売

ライフサイエンス分野

★当社の基盤・強み

- ・医薬中間体事業（商社、R&D、製造の機能統合）
 - R&D機能(キラル合成技術、酵素技術、天然物抽出)
 - グループ製造会社群(c-GMPプラント、酵素プラント)
- ・先端技術への取組
- ・化粧品・健康食品販売網(販売員4万人、7店舗)



写真:ナガセケムテックス(株)
医薬原薬・中間体製造設備

★具体例

- ・研究開発センター： 基盤技術(キラル合成技術、酵素技術等)を用いた、医薬品原薬・中間体の合成技術確立(日本プロセス化学会02年優秀賞受賞他)
- ・ナガセケムテックス(株)： 医薬品原薬／医薬中間体／治験薬受託製造
 - GMPパイロットプラント、商業プラント等
- ・ナガセ医薬品(株)、グレラン製薬(株)： 医薬品製剤製造、販売、注射製剤受託製造
- ・(株)ナガセビューティケア： 化粧品・健康食品販売
 - ナガセ医薬品(株)、東洋ビューティサプライ(株)における、化粧品・健康食品製造
- ・先端技術への取組：
 - 京大、大阪府立大、等との共同研究の推進
 - (株)MEDICANET:臨床試験受託機関(CRO)

自動車関連分野

★当社の基盤・強み

- ・合成樹脂事業での海外拠点と取引先群
- ・金型事業、製品・部品事業での10年以上の実績
- ・(株)デザイン&ダイ：設計と金型の融合ビジネス
- ・河西工業(株)との提携(資本参加)
- ・ウレタンビジネスでの海外合併2社(クラボウ、東洋クオリティワン)



写真：車載用ビルトインキャンピングテーブル

★具体例

- ・販売拠点 27(グレートチャイナ 11、アセアン 10、北米 3、欧州 3)
- ・生産拠点(グレートチャイナ 2、アセアン 5、北米 1)
(射出成形、ブロー成形、金型製造、ウレタン製造)
- ・設計拠点(日本 1、グレートチャイナ 1、北米 1)
- ・車載用製品の成形・組立：
(インドネシアで組立 → イギリスの日系自動車メーカーにカンバン納入)
- ・日本、北米、欧州での購買代行
- ・部品設計、試作、量産用金型の一貫サービスによる完成車メーカー直取引(Tier1)



- ・樹脂原料販売、成形設備、製品ビジネスとのシナジー

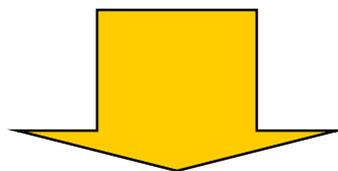
コーポレートガバナンス

株主・投資家への情報開示、透明な経営

監査役の機能強化、経営へのモニタリング

投資案件に対するリスクマネジメントの徹底

執行役員制度の定着、社外取締役の招聘



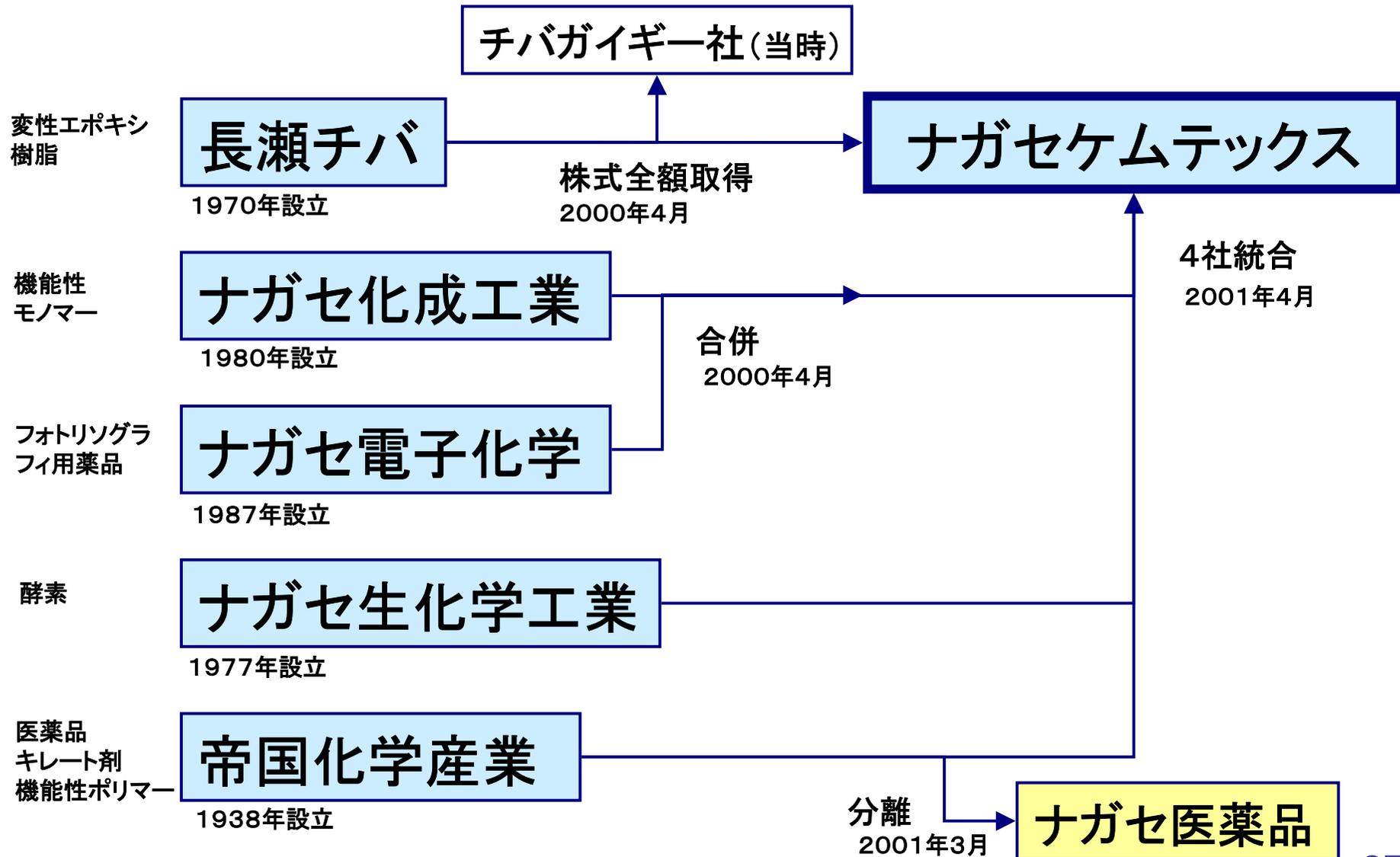
常に長期的・客観的な視点から経営を考える

事業戦略トピックス
製造子会社
ナガセケムテックスの事業戦略

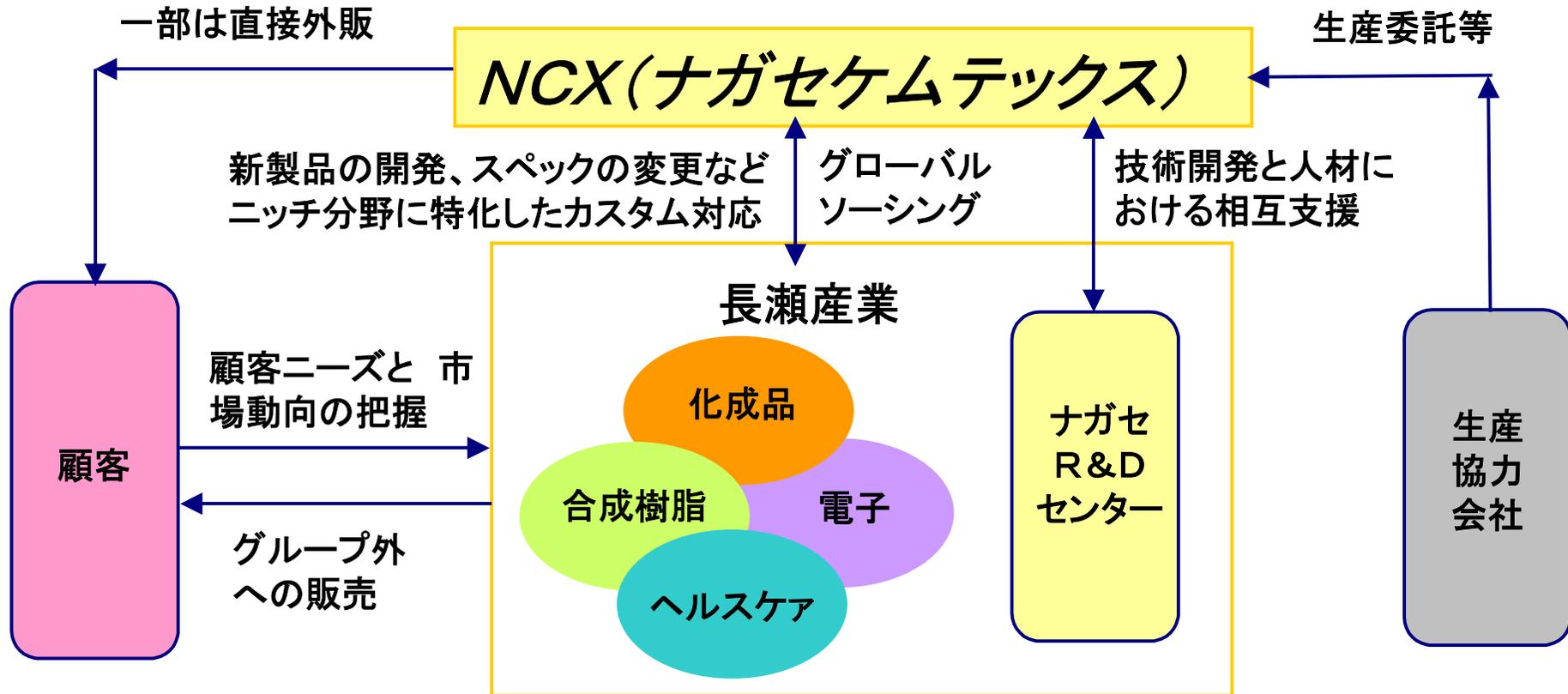
長瀬産業株式会社取締役兼常務執行役員
ナガセケムテックス株式会社取締役社長

長瀬 玲二

ナガセケムテックス(株)発足の経緯



NCXの位置付け



Nagase ChemteX …… 長瀬産業グループにおいて製造機能を担う代表的な子会社。
 ナガセグループにあって(N)、ケミカル分野において(C)、テクノロジーオリエンテッドに新しい
 価値(X)を創造することでNCX。つまり、長瀬産業の販売力とケミカルで培った経験・ノウハ
 ウを使って、「新しい価値」を生み出す。

ナガセにとってのNCXの存在価値

NCX製品の製造販売による利益

技術開発機能・生産機能による他社との差別化

NCX製品販売による他製品・他サービスとの
販売シナジー

NCXの企業規模

資本金： 2,420百万円

総資産：18,746百万円

単位：百万円

	02/3実績	03/3実績	04/3実績	05/3計画
売上高	19,039	20,078	20,885	21,690
経常利益	588	1,026	1,243	1,194
人員数	533名	480名	461名	450名

NCXの特徴と優位性

川下分野を中心とする多品種少量生産。高付加価値分野への集中。

グループ企業との分業により研究開発、生産、技術サービス、品質管理に専念。

ナガセが持つグローバルなソーシング機能と有機合成、バイオ、エレクトロニクス等の技術・ノウハウを活用し、他社製品と差別化。

ナガセが持つ顧客網・販売力を背景に、顧客への迅速かつきめ細かい対応(カスタムメイド)が可能。

NCXの主要製品



NCXの主力製品は、長瀬産業のセグメントにおいては、エレクトロニクスおよびヘルスケアとの関係が深い。これは、中期経営計画「WIT21」の中の重点分野とも合致している。

NCXの主要製品

● 酵素



酵素は化学物質に変わる触媒として、繊維加工、医薬品、食品等から廃水処理まで、さまざまな産業分野で利用されており、NCXでは幅広く提供。

● 医薬中間体、バルク製品



国内外のGMPに適合する体制で医薬品原薬、治験用原薬を提供。

NCXの主要製品

● キレート剤



キレート剤(有機系金属イオン封鎖剤)は、洗浄剤や写真の現像・漂白、繊維やパルプの製造過程やメッキ工程等に利用。NCXは国内トップシェアを確保し、生分解性キレート等にも取り組んでいる。

● 機能性モノマー(エピクロルヒドリン誘導体) / 機能性ポリマー



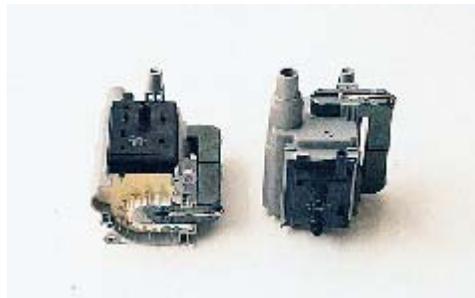
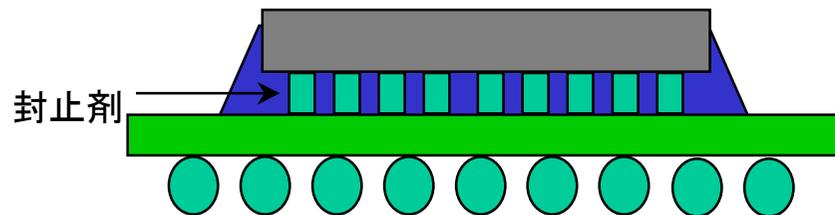
アクリルの重合技術、ナイロンの変性技術、エポキシの合成技術を基に、水溶性エポキシ樹脂、UV・EB硬化性樹脂等の高機能性ポリマーを開発・提供。

代表的な製品は、

- ・液晶
 - ・「デナコール」(架橋剤)
 - ・アクリル樹脂
 - ・導電性ポリマー
- など。

NCXの主要製品

● 変性エポキシ樹脂(電子材料・構造材料)



● 電子材料

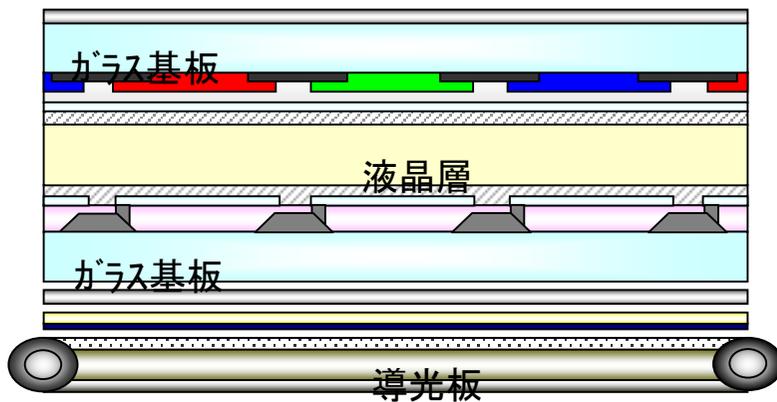
- ・電気用絶縁材料
- ・半導体封止用材料
- ・イメージセンサー用封止材料
など。

● 構造材料

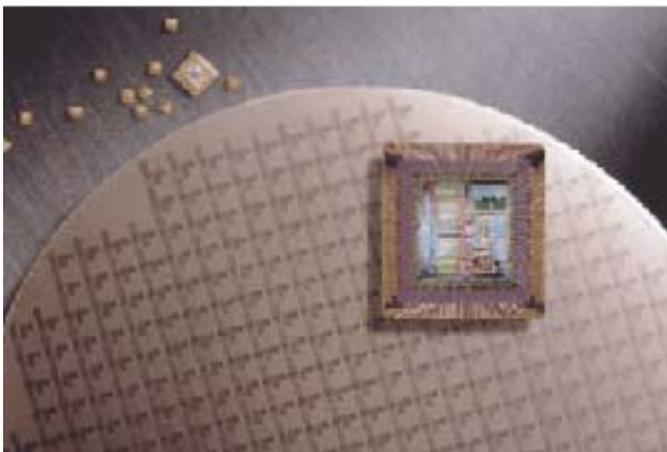
- ・自動車業界向けモデル材・試作型作成材
- ・各種強力接着剤
など。

NCXの主要製品

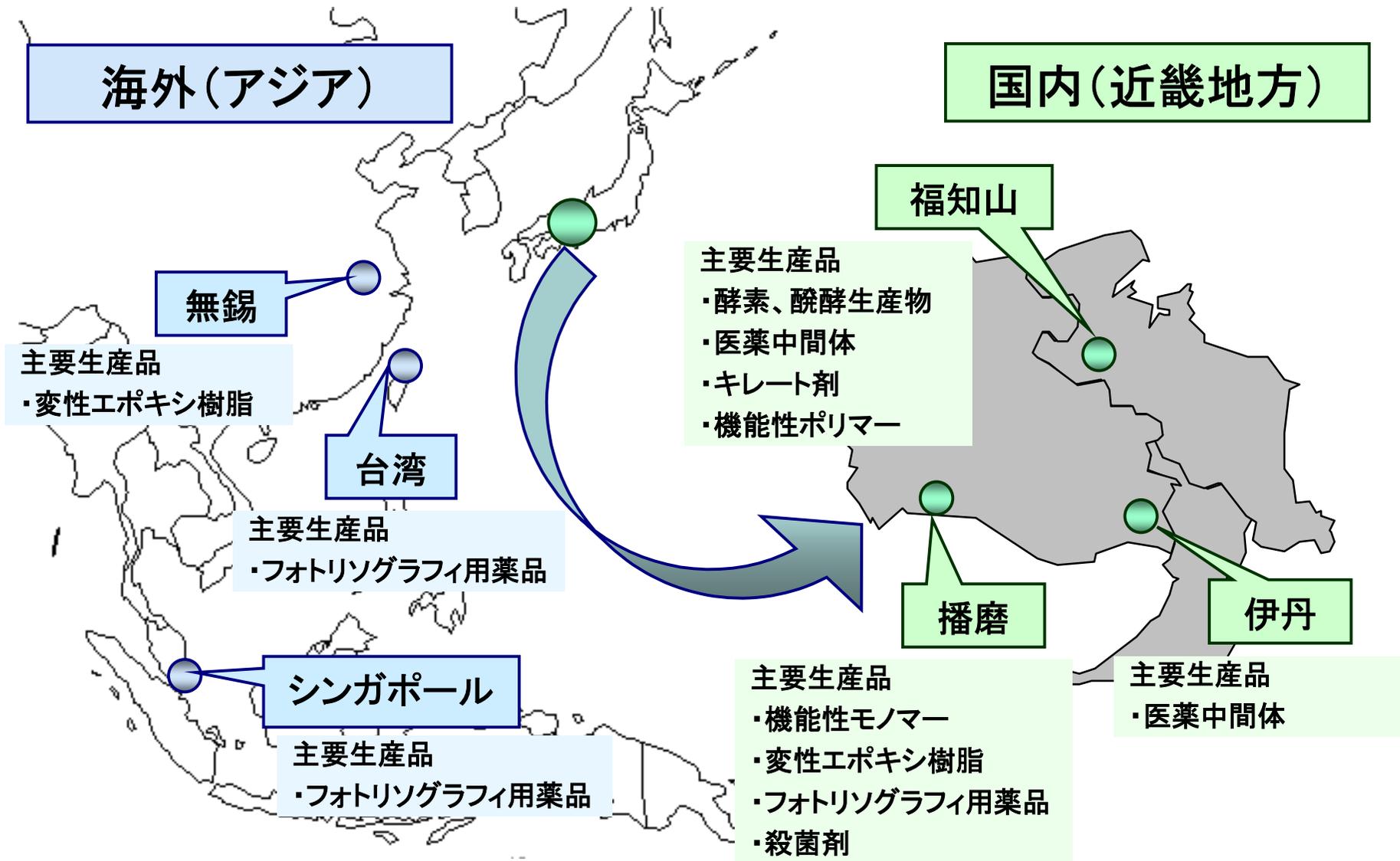
● フトリソグラフィ用薬品



- 各種ケミカル
- ・ フォトリソ
- ・ レジスト剥離剤
- ・ 現像液
- 平坦化膜



NCXの生産拠点



今後の方向性

ニッチ分野、多品種少量生産への特化

ナガセR&Dセンターとのシナジー効果発揮

国内生産拠点の集約・再編、物流の効率化

海外生産拠点、Local to Local ビジネスの強化

有機合成、変性、醗酵という基礎技術の深化による
材・製品の開発

知恵をビジネスにする技術・情報企業



長瀬産業株式会社

当プレゼンテーション資料には、2004年11月12日時点の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれています。世界経済・競合状況・為替変動等に関わるリスクや不確定要因により実際の業績が記載の予測と異なる可能性があります。